

小学校高学年向け  
啓発パンフレット  
教材使用に関するアンケート  
集計結果

都留市男女共同参画推進委員会

平成 30 年 4 月



—目次—

I. 小学校高学年向け啓発パンフレットについて	4
1. 小学校高学年向け啓発パンフレットの作成経緯	4
2. 啓発パンフレットについて	4
3. 教材使用に関するアンケートについて	4
II. アンケート集計結果	5
1. 教材としての使用について	5
問1 教材としての使用状況についてお答えください。	5
問2 教材使用の方法について、お聞きします。	5
問3 教材の内容についてご意見を伺います。	6
2. 男女共同参画に関する学び・意識について	8
問4 教材を使用した子どもたちの反応はいかがでしたか。	8
問5 子どもたちの「男女共同参画」に関する理解度について伺います。	11
問6 子どもたちの他人との関わり方などに変化はありましたか。	12
3. 当委員会が実施する啓発活動について	13
問7 当委員会で行う啓発活動について、今後希望されるものはありますか。	13
問8 その他ご意見・ご要望等ありましたら、自由にご記入ください。	13

# I. 小学校高学年向け啓発パンフレットについて

## 1. 小学校高学年向け啓発パンフレットの作成経緯

平成28年3月に行われた第8期（平成26年5月～平成28年4月<sup>※1</sup>）都留市男女共同参画推進委員会（以下、「推進委員会」）活動報告会にて、「若年層や男性に向けた啓発活動の充実」として、「市内小中学校または高校への出前講座等の実施を今後の施策に取り入れていくように」との提言がされました。

これを受けて、第9期（平成28年5月～平成30年4月）推進委員会では、平成28年度事業計画に「市内小中学校または高校への出前講座の実施や啓発資料の配布」を盛り込み、若年層（特に10代の子ども向け）に対する啓発活動に取り組むこととなりました。

第9期推進委員会にて協議を重ねる中で、市内各小学校へ教材として使用できる啓発資料を配布することを決定し、平成28年度中に小学校高学年向け啓発パンフレット（以下「啓発パンフレット」）を作成しました。完成した啓発パンフレットは、平成29年7月に市内小学校の4～6年生を対象に配布し、各学校向けに「教材使用に関するアンケート」を実施しています。

## 2. 啓発パンフレットについて

啓発パンフレットは、男女共同参画について学ぶ機会をもつことで、「誰かを差別しない」「互いを尊重しよう」という意識を子どもの頃から育んでもらうことを目的に作成しました。

また、教材として使用した後、家庭に持ち帰ってもらい、子どもの学びを家庭で共有し、家庭でも男女共同参画について考える機会を設けてもらうことも目的とし、啓発パンフレットの最後に保護者の方に向けたメッセージも記載しました。

## 3. 教材使用に関するアンケートについて

啓発パンフレットを教材として各小学校で使用していただくにあたり、今後子ども向けの啓発資料を作成する際の参考とするため、教材使用に関するアンケートを実施しました。

アンケートでは、啓発パンフレットが教材として十分な内容・量だったか、子どもたちの反応はどうだったか、今後委員会で啓発活動を展開する場合どのようなものを希望するか、などについて教材を使用した教員の皆さまよりご意見をいただいています。

## Ⅱ. アンケート集計結果

### 1. 教材としての使用について

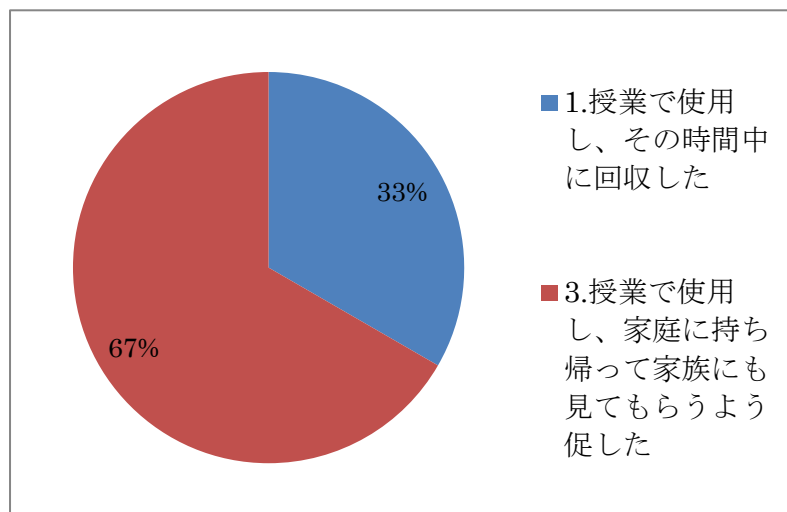
問1 教材としての使用状況についてお答えください。

学年	パンフレットを使用した授業 (ホームルーム、道徳の授業等)	学習時間 (教材として使用した時間、時限数)
4年生	道徳	1時間
	道徳	1時限 (45分間)
	学級活動	1時間
5年生	道徳	0.6時間
6年生	学級活動	45分 2校時
	道徳	1時間
	ホームルームの時間 (朝学習の時間)	朝学習の15分間 家での課題
	道徳、学級会	全5時間 (実際にパンフレットを使って書いたのは1時間だが、内容については全ての時間の中で触れている)
	道徳	1時間

問2 教材使用の方法について、お聞きします。

[選択肢]

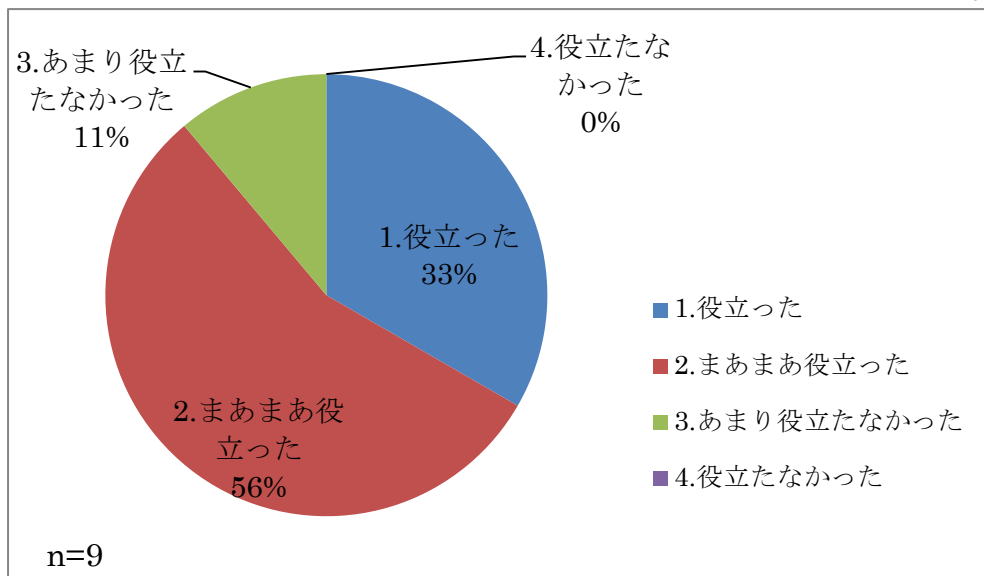
1. 授業（またはホームルーム等）で使用し、その時間中に回収した
2. 宿題として使用し、後日回収した
3. 授業（またはホームルーム等）で使用し、時間中に回収した後、家庭に持ち帰って家族にも見てもらうように促した
4. 自由課題として、生徒に配布した
5. その他



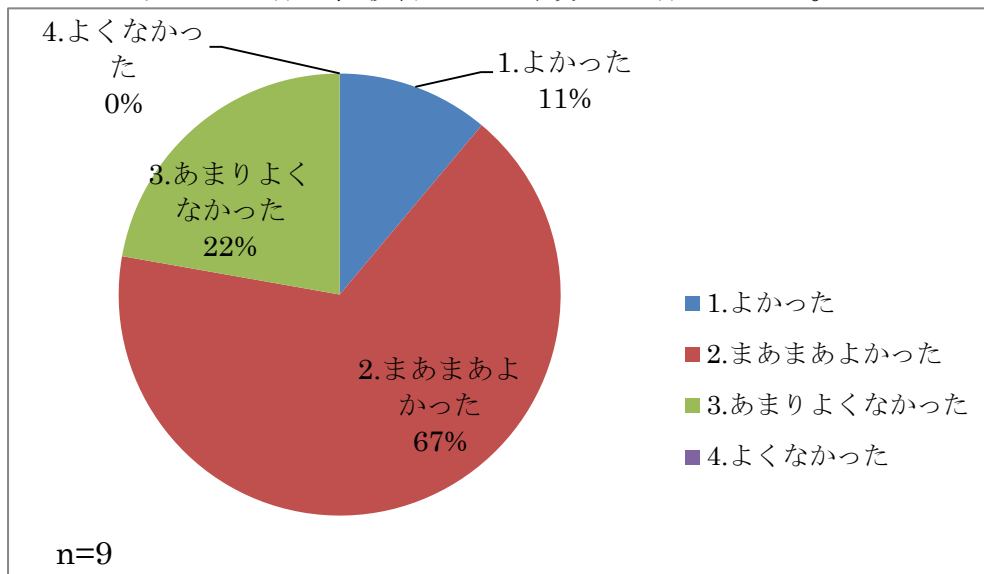
啓発パンフレットの最後に保護者向けのメッセージを記載し、家庭で男女共同参画について考える機会をもていただくようお願いしたところ、半数以上の学校で、「授業で使用した後、家庭に持ち帰って家族にも見てもらうよう促す」という形で使用していただきました。

### 問3 教材の内容についてご意見を伺います。

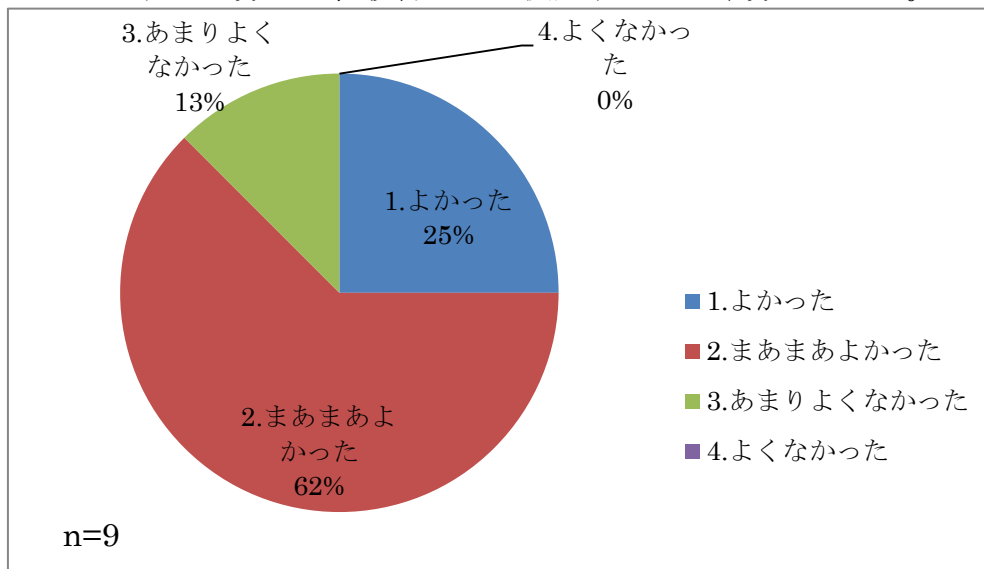
①パンフレットは、男女共同参画に関する資料として役立ちましたか。



②パンフレットの内容は、教材として十分な内容でしたか。



③パンフレットの分量は、教材として使用するのに十分でしたか。



④パンフレットの内容について、ご意見・ご要望等があればご記入ください。

4年生	4年生にとっては分量は良いと思うが、4年生はまだ調理実習をしていないので、答えられない部分がある。 女性が活躍している順位は、どんな項目を根拠にしているか説明がほしい。 大切な内容がコンパクトにまとまっていて使いやすいと思います。
5年生	具体例があると良い ・女性で活躍している人・職 ・男性で育児 ・女性に開かれた社会にするための取り組み ・その他
6年生	例が極端で不自然だった ・将来の夢の絵がもっと多く欲しかった（この中から選ぶの？と聞いてくる子が何人かいた） ・？の答えが欲しかった 例：調理実習→解答したらすぐ次になってしまった ・世界の中で女性が活躍する位置が日本が低いことに驚いていた。 この資料がよかったです。

全体として満足度は高かったものの

- ・学年のカリキュラムに合った内容だと子どもがより理解しやすい
- ・実際にその分野で活躍している人などの具体例があった方が理解に繋がりやすい
- ・設問によって何を学んでほしいのか、重要なポイントは何か、導きがあった方が良い  
といった改善点も挙げられました。

## 2. 男女共同参画に関する学び・意識について

### 問4 教材を使用した子どもたちの反応はいかがでしたか。

	<p>【自由記入欄 解答（一部）】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・これから、男とか女とか関係ない社会になってほしい。</li><li>・「女の子だからしっかりしなさい」「男だから泣くな」は、変な考えだと思った。自分らしく生きていきたい。</li><li>・男女関係なく、協力していきたい。</li><li>・赤ちゃんができて、働きやすくなってほしい。協力が大切だと思う。</li></ul>
	<p>子どもたちは初めて聞く男女共同参画という言葉を経験の内容を通して理解しようとしていた。意欲的に取り組んでいたように感じている。</p> <p>【自由記入欄 解答例（一部）】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・女性だからと言って差別はないことがわかった。こういうことがあるとみんなが男女共同参画のことが分かっていい。</li><li>・男女かんけいなくすることがわかったからそのことをわすれないようにする。男子も女子も両方の大切さがわかった。</li><li>・男女差別なく、男女関係なく暮らしたいと思うから使っていきたいと思いました。</li><li>・社会では、男子と女子で区別していると知ったので大人になっても忘れないようにしたいです。あと、家族にも話をしてみたいです。</li></ul>
4年生	<p>教師側に「男女共同参画」に対する知識があまりないので、パンフレットの内容に補足説明することが充分でなく、児童の理解を深めることができなかつたように思う。</p> <p>【自由記入欄 解答（一部）】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「男女共同参画」はとてもいいことだと思いました。男の人しかできないことや女の人しかできないこととかがなくなってみんな平等な世界になるといいと思いました。</li><li>・男の子だけしかできる仕事や女の子だけしかできる仕事なんてない分かった。だから、私は、自由に生きていこうと思いました。アイスランドは、2015年も2016年も1位ですごいと思ったから、日本もアイスランドみたいになればいいと思った。</li><li>・女の人の方がもっといっぱい働けば、順位がもっとあがると思ったから、大人になったら働きたい。男だから女だから関係なく、自分らしく生活したい。</li><li>・「男女共同参画」は、女性はこう、男性はこう、ではなく男性も女性も協力して生きていこうと思いました。とくに職業は、男性はこの職業、女性はこの職業ではなくて、女性も男性も協力して生きることは大切だと思いました。</li><li>・今の日本の女性がどれだけ社会で活躍できるかを知って、予想より少なくてびっくりしました。自分は、看護師になりたかったけど、この紙を見て女性がするようなケーキ屋さんや、保育士にも興味が出てきました。今後の生活で今見たことを生かしていきたいです。</li><li>・男性も女性も活躍できる社会が実現すれば差別しない、平等な世界が誕生すると思いました。</li></ul>



今まで特に、男女が違うという認識や、男女差別という気もちがない子たちだったので、「大人になったら大変だ。」と感じたようです。まだ小学生の子供達にとって、男らしさ、女らしさというイメージ自体があまりなく、大人が考えるより男女それぞれ活躍できる世の中であることを信じているようでした。

【自由記入欄 解答（一部）】

- ・もっと女の人がかつやくしてもいいと思う。
- ・男子でも女子でも差別されないとうれしいです。女子でもいろいろできるということを知ってほしいです。
- ・男女関係なく働ける世の中になったらいい。
- ・べつに男女かんけいなく自分たちがかんじたままに生きればいいじゃん
- ・働いている人で女性がすくないのはテレビで見たことがあるけどこんなに少ないなんて思わなかった。
- ・男子、女子の差がないような世の中になればいいと思った。
- ・女の人も社会でかつやくできるようにする。

【自由記入欄 解答（一部）】

- ・男だから、女だからじゃなくて1人1人の人間として考える世の中になってほしい。今まで男の人の仕事とされてきたことや、女の人の仕事とされてきたことが私たちが大人になって職につくときには、男の人だから・女の人だから、で採用されるのではなく男女自由になったらいいと思います。
- ・おじいちゃんとかに「男だから」と言われてきたけど、今の社会は男が家のことをやっても女が力仕事やっても別にいいと分かった。今日学んだことを大人になるまで忘れないで、結婚した時に家の事を手伝ったりしたいと思った。
- ・男らしさ女らしさを気にしないで生活することは大切だと思いました。私も、女らしさとかを気にしないで自分のやりたいことをやりたいです。自分の夢を大事にしたいです。
- ・男の子だから、女だからと人にいわれても自分らしく自由にやりたいことをやって生きていけばいいんだなと思った。私は、女に生まれたことは後悔してはいません。自分らしく生きて、自分らしく夢をかなえていきたいです。男の子だけど女の子みたいになりたい！女の子だけど男の子みたいになりたい！という人が世の中にはたくさんいます。私はそういう人たちを助けたいです。
- ・私は、なんで女の子と男の子で区別して仕事を決めるんだろうと思いました。女の子なんだから行儀よくする、とか男の子だから泣くなとかよく聞いたりします。まずどうして女男のイメージが出たのかがすごく不思議です。けれど女と男で区別すると、やりにくい仕事や作業が出て来てしまい、とてもやりにくい社会になるのでこれからは男女区別ない社会になってほしいです。

【自由記入欄 解答（一部）】

- ・男性も女性も関係なく平等で自由に働いたりできたらいいなあーと思った。これからは女性が働いて、男性が家事などをする未来もいいと思う。お母さんが家で家事をしている間お父さんが子どもと遊ぶのも良いと思う。
- ・個性をかくさないで自信をもっていることが大切なんだな。と思った。
- ・男女関係なく、平等に、何事もする。しっかり手伝ったりする。（今から）自分も、何かできることはしっかりする。

- 「女の子はこうですよ」とか「男の子はこうしなさい」というように、性別だけで役割を決めないで、みんなが「自分らしく」生きることが大切ということが分かった。社会で女性がどれだけ活躍しているかという調査で日本は、2015年には101位で2016年にはもっと下がって111位になってしまったからこれから日本は「男女共同参画」ということをもっと大切にしていってほしいなと思った。母が仕事をがんばってやって活躍できるように母のお手伝いをしたいと思う。
- 男女共同参画は男女関係なく自分らしさで生きる事が大切だし、「男の子だから」や「女の子だから」など、差別しない事も大切ということが分かった。将来、子供を産んで、会社で活躍したい。今、お父さんとお母さんがやっている事（家事、仕事）を見て学んで大人になった時にやる。

【自由記入欄 解答（一部）】

- これから「男女共同」という言葉を覚えて仲良くしたり、協力していきたい。男女関係で差別しないようにしたい。
- 男子、女子でくくりにしない、1人1人を見るのが大事だなと思いました。将来の夢でも、やりたいことをやればいい。ということが分かりました。
- 男も女も自分らしく生きていけたらすごくいいなと思いました。男の子だから、女の子だからというのではなく自分らしい世界にして、女の子も男の子も活躍する日本にしたいです。
- みんなのちがいを認め合ったり、自分らしさを大切にする事は、男女共同参画という活動に繋がるということが知れた。「男の子だから」「女の子だから」といって区別することはいけないということも分かった。
- 男の人も女の人も人だから多様性だと思う。女の人も男の人も夢をかなえられる事はとてもかっこいいと思った。これから、学んだ事をみんなに伝えていきたい。男の人も女の人もみんなが活躍できる社会になったらいいなと思う。

パンフレットだけでは、どのような主旨のものなのか読み取りづらいようだった。（教師側の説明が多くなればなるほど押しつけのようになってしまう）

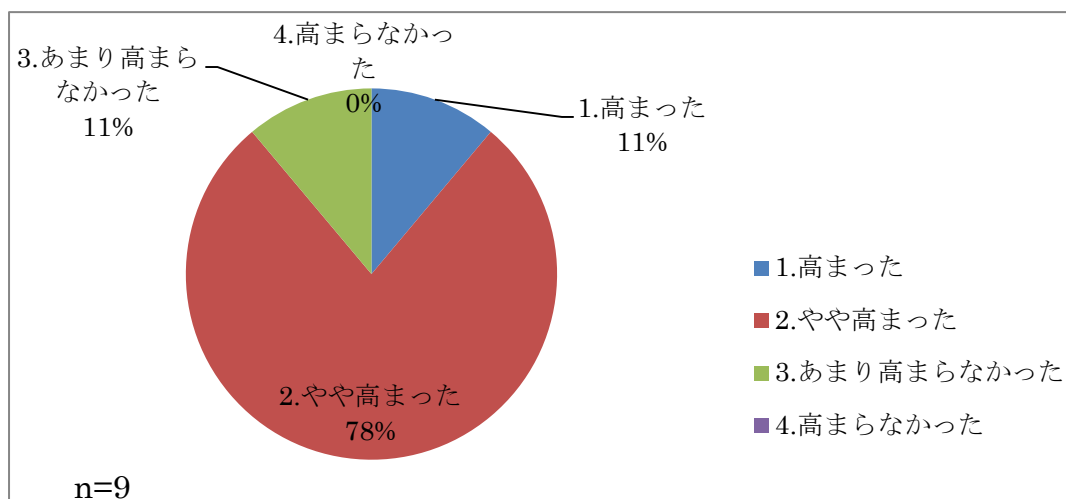
啓発パンフレットを使用した子どもたちの意見から、現在では「男の子も女の子も関係なく平等」である考え方が浸透していることが分かりました。

子どもたちにとっては、啓発パンフレットを使用したことが、自分たちが普段意識せずにしていたことが、実は大切なことだった、という気づきに繋がりました。

委員会では、男女共同参画の意識をもった子どもたちが大人になった時、希望をもって社会に出られるような環境づくりを、我々大人たちが進めていかなければならないということを改めて実感しました。

**問5 子どもたちの「男女共同参画」に関する理解度について伺います。**

① パンフレットを教材に使用したことで、子どもたちの「男女共同参画」に関する理解度は高まりましたか？



② ①の選択肢を選んだ理由を伺います。

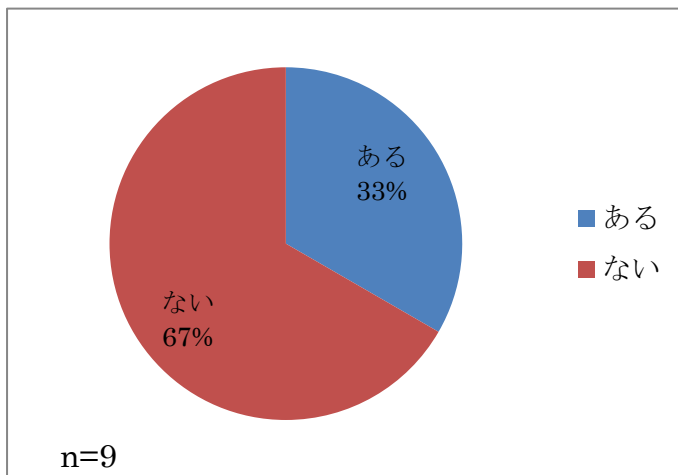
1.高まった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の感想を読むと、ほとんどの児童が男女で区別せず、自分らしさを大切にしていきたい、やりたいことをやっていきたいと書いてありました。</li> </ul>
2.やや高まった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめの導入が難しいなと感じました。調理実習で、男女関係なくいろいろな分担をしているので、そこで気付くことができず、男女違うということがあるという話を付け加えました。より高まるために、導入でできる話のヒントが欲しいです。</li> <li>・何名かの子どもたちが、学んだことを自分の言葉で書いていたから。</li> <li>・子どもの意識としては、子育ては母、お勤めは父、男の方が給料が高い、女の方があまり働いていない、という意識が強い</li> <li>・パンフレットを教材に使用して授業を行ったことにより、子供たちの「男女共同参画」についての理解度は高まったと思います。小学生にとって分かりやすいパンフレットだと思いました。</li> <li>・日記の中で、男女関係なく自分らしくがんばりたいなどの言葉が書かれていることがある。</li> <li>・今まで「男女共同参画」という言葉さえ知らなかったもので、学習したことで、「男女が平等な立場で」「自分らしく生きる」ことが大切なのだということを考えるきっかけになったと思う。</li> <li>・男女の性差による差別など具体的な事例を通して理解することはできていると思う。そのことにより理解はやや高まったと考えられる。</li> </ul>
3.あまり高まらなかった	<p>パンフレットだけでは、どのような主旨のものなのか読み取りづらいようだった。(教師側の説明が多くなればなるほど押しつけのようになってしまう)</p> <p>※問4と同様</p>

子どもたちの理解度については、ほとんどの学校が「高まった」「やや高まった」と回答しています。パンフレットを教材として使用したことで、「男女共同参画」について子どもたちが意識し、考えるきっかけになったとの意見も見られました。

一方で、「教員に知識があまりないので、補足説明が不十分になり、児童の理解を深めることができなかった」という意見もあり、子どもたちの学びのフォローになるような副読本や参考文献などを活用することを委員会で今後の検討事項としました。

**問 6 男女共同参画について学んだ前後で、子どもたちの他人との関わり方などに変化はありましたか。**

① (      ある      ・      ない      )



② (①で「ある」と答えた学校のみ) 具体的にどのような変化があったかお答えください。

- ・グループ作りをする時、「男女共同参画だから」と言いながらつくっていた。(男女がグループ内に入れるように)
- ・男だからこの仕事、女だからこれ…という言葉が減った。男女混ざって遊んでいる。
- ・クラス内だけでなく他学年との交流の中でも男女の違いを意識した上で協力していこうとする姿勢が以前より見られるようになったと感じている。

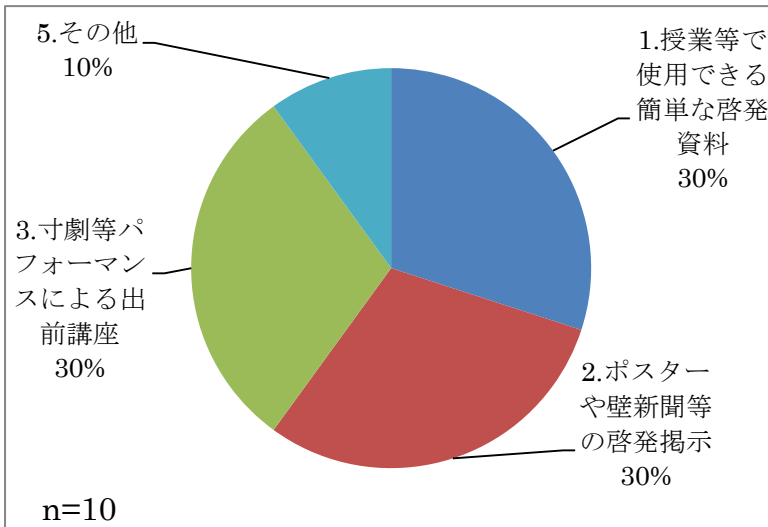
(ない と答えた学校より)

- ・ないので、将来も男女平等に生きていこうと、関わり方を間違わないでいこうと思ったようです。
- ・学習後の期間が短いので大きな変化は見られませんが、今後の様子を見ていきたいと思えます。

「男女共同参画について学んだ前後で子どもたちの他人との関わり方などに変化があったか」という設問に関しては、「ない」と答えた学校の方が多かったものの、「大人になっても、男女で差別することなく、平等に接することが大切」だと感じてもらえたようです。

### 3. 当委員会が実施する啓発活動について

問7 当委員会で行う啓発活動について、今後希望されるものはありますか。(複数回答可)



〔選択肢〕

- 1.授業等で利用できる簡単な啓発資料
- 2.ポスターや壁新聞等の啓発掲示
- 3.寸劇等パフォーマンスによる出前講座
- 4.委員会との交流会・意見交換会
- 5.その他

「その他」の回答  
授業で使える実践事例集

問8 その他ご意見・ご要望等ありましたら、自由にご記入ください。

今の子供たちにとって「男女共同参画」に関する意識は以前に比べ、備わってきていると感じています。「男女共同参画」推進に関わる方々の努力によって学校教育、社会教育等様々なところで「男女共同参画」の考え方が根付いてきたように思いますが、他国と比べると日本は依然意識が低いことが分かります。

今後は、子供たちへの意識化と同時に「男女共同参画」の考え方を社会構造のさらなる改革、大人も含めた意識改革へとつなげていくことが大切だと思います。

教職員用の研修会を行ってほしい。意識の差が大きいです。

内容としてよく考えられていて、子どもたちも意欲を持って考えることが出来る資料だと思います。対象学年が5,6年であればいいのですが、もし4年生まで入れるのであれば、導入部(1ページ)の調理実習の例は学校ではしていないことなので何か別の例を入れた方がいいように思いました。(導入部で自分たちに関係ない話題があると一気に意欲が下がってしまう児童もいるので…)今回は4年生で実施するにあたり、1ページは読むだけにして2ページから本格的に取り組むようにしました。

委員会が行う啓発活動について、簡単な啓発資料や壁新聞等の啓発掲示が欲しい等の意見もいただきました。

今回の啓発パンフレットで終わりにするのではなく、今後も啓発活動を続けていきたいと考えています。

## 都留市男女共同参画推進委員会について

都留市男女共同参画推進委員会では、

「<sup>ひと</sup>男と女が <sup>ひと</sup>認め支え合う 思いやりがあふれるまち」

をテーマに、活動しています。

性別や国籍・文化の違い、障がいの有無によって差別されることなく、それぞれの個性を認め支え合う、皆が暮らしやすい社会を目指して皆さんも、男女共同参画について考えてみませんか？

### \*男女共同参画のキーワード\*

#### 「男女共同参画社会」

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的・経済的及び文化利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会のこと言います。

#### 「都留市男女共同参画基本条例（平成 12 年 3 月施行）」

都留市において、男女がお互いにそれぞれの人権を尊重しつつ、協力し合いその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会づくりを進めるための指針として、平成 12 年 3 月に都留市男女共同参画基本条例を制定しました。

#### 「第 3 期都留市男女共同参画推進計画(平成 28 年度～平成 38 年度)」

本計画は、男女が互いにその人権を尊重しなら責任も分かち合い、性別にかわりなくその個性と能力を十分に発揮し、社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保される男女共同参画の実現を目指しています。

委員会の活動を

Facebook で紹介しています！

検索



都留市男女共同参画

Facebook ページ

都留市男女共同参画推進委員会

ぜひ、チェックしてみてください！

都留市男女共同参画推進委員会

事務局 都留市役所市民部地域環境課

地域振興担当 加藤、柴田、石丸

TEL 0554-43-1111(内線 174,176)

FAX 0554-43-5049

E-mail [chiikishinkou@city.tsuru.lg.jp](mailto:chiikishinkou@city.tsuru.lg.jp)